

盛岡市立上田小学校・仁王小学校 学習支援ボランティア



放課後学習の個別支援



丸付け・個別支援



体験活動の見守り支援

募集!

1 目的

地域の小学校での学習支援ボランティア活動を通して、学校現場の様子や学校教育の実際、教職員の指導や経営への思い、子どもたちの思い等を知ることができるようにする。

2 募集の対象学年

- 岩手大学教育学部の学生（1年生～4年生） ※ 教員免許取得を目指す教育学部以外の学生も可能

3 学習支援ボランティア活動の内容例

算数科・体育科などの個別指導や技能補助等 スキー・スケート教室支援 校外学習安全見守り支援
朝学習・放課後学習支援（丸つけや個別指導） 陸上記録会練習技能支援 図書館環境整備 等

4 学習支援ボランティア登録と活動の実際の流れ（予定）

- ① **学習支援ボランティア登録**をする。（QRコードから入力フォームにアクセスし、下記の必要事項を入力してください。）

※ **必要事項** （1）メールアドレス （2）学籍番号 （3）氏名 （4）氏名（かな） （5）学年 （6）所属コース （7）生年月日 （8）登録を希望する小学校（上田小・仁王小・両校のいずれかを選択） （9）電話番号

※ 登録いただいた個人情報は、学習支援ボランティア事業に係る目的以外では使用しません。

- ② 小学校の学習支援ボランティア担当教員或いは地域コーディネーターから**ボランティア活動の依頼メール**（活動期日・時間 活動内容 支援内容 等）が登録者に送信される。

- ③ **学習支援ボランティアの可否をメールで返信**する。

- ④ 小学校で**学習支援ボランティア活動**をする。

- ⑤ 実施後、『**学習支援ボランティア活動実施報告書**』に必要事項を記入し、小学校の担当教員へ提出する。

（②～⑤を繰り返す。）



※ **申込み締切日： 令和8年5月7日（木）17時厳守**

※ 昨年度、申込み登録した方も、希望する場合は、改めて申込みをしてください。

【担当教員】 佐藤寿（420研究室） 621-6528 toshis@iwate-u.ac.jp
仁昌寺（308研究室） 621-6686 nishozi@iwate-u.ac.jp

『学習支援ボランティア活動』の概要について

① 活動の目的

地域の小学校での学習支援ボランティア活動を通して、学校現場の様子や学校教育の実際、教職員の指導や経営への思い、子どもたちの思い等を知ることができるようにする。

② 活動の流れ

- ア 学習支援ボランティア登録者の募集 ⇒ 申込み（ボランティア登録） 4～5月
・ 活動説明会 ・ 募集ちらしの掲示 ・ 学部ホームページへの掲載
- イ 事前説明会（活動の進め方 活動当日の具体的な動き 等） 5月下旬
- ウ 活動（活動後、実施報告書の記入） ※ 活動期間：6月～3月上旬
- エ 活動の振り返り（アンケートの実施） 12月中旬



個別支援

③ 活動の実際

ア 活動内容（どんな学習支援を行っているか・・・）

- 朝学習や放課後学習支援（プリントの丸付けや個別指導等）
- 校外学習見守り支援（生活科等、校外での学習時の安全見守りや個別支援）
- 家庭科等実技学習支援（ミシン縫い、アイロン掛け等、実技支援）
- 課外活動支援（陸上記録会練習時の実技補助） 等々

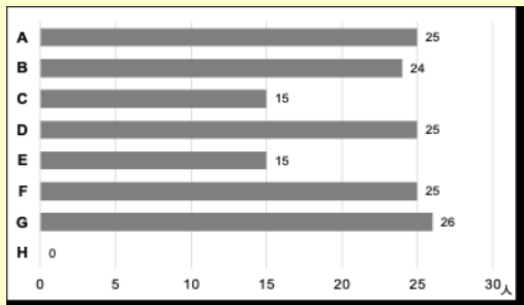


丸付け

④ 活動の声（実際に活動してみて）

ア 学生の声（R7学習支援ボランティア登録者74名 ⇒ 1年31名 2年8名 3年26名 4年9名）

学習支援ボランティア登録の動機は何か？



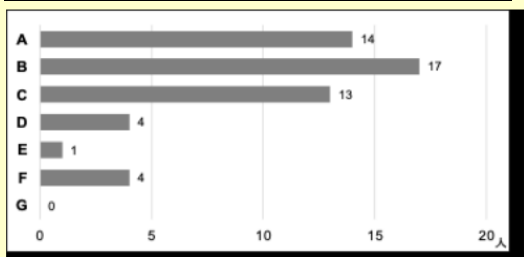
【R7 学生へのアンケート結果から抜粋】

- A 学習支援活動への興味や関心
- B 教員を目指しており、その心構えづくり
- C 教員としての資質・能力を得たい
- D 学校現場の様子を理解したい
- E 学校教育活動へ貢献したい
- F 子供の理解や関わり方を知りたい
- G 学校現場で直接子供と関わってみたい
- H その他



個別支援

参加して学んだこと・よかったことは何か？



【R7 学生へのアンケート結果から抜粋】

- A 学習指導や支援の在り方
- B 子供の理解や関わり方
- C 学校現場の様子
- D 教職員の望ましい立ち居振る舞い
- E 学校施設のもつ意義や必要性
- F 教育活動の実施の仕方
- G その他



校外での学習支援（安全見守り・グループ支援）

<学習支援ボランティア活動に参加した学生の声>

実際の学校現場の様子を肌で感じることができた。また、子供の理解や関わり方を学ぶことができた。子供にかける言葉の重要性に気付くことができ、この活動を経験してから臨んだ主免実習では、授業の構想だけではなく、子供たちにかける言葉の一つ一つを大切にすることができた。

一人一人に応じた指導や支援の在り方が、今後の自己課題である。



校外での学習支援（安全見守り）

イ 小学校教職員の声

<R7 小学校へのアンケート結果から一部抜粋>

- 活動の成果としてとらえていること
 - ・ 個別の指導や支援により、子供一人一人の学習意欲の向上、学習習慣の確立につながった。
 - ・ 校外学習や遠足の同行支援により、安全な学習が確保できた。また、個別に支援が必要な子供が楽しく参加することにつながった。
 - ・ 客観的に自分の学級の様子を見たり、情報を得たりすることができた。
 - ・ 教職員も学生の頑張りや成長を近くで見届けることができ、喜びに感じている。